

2026年6月8日(月) 第5限

## 命を考える講話 『日本で報道されない「戦場」のリアル ～命の大切さを知る～』

フォトジャーナリスト 久保田 弘信氏

中東を中心に世界の紛争地域取材されている本校の卒業生(第10期生)久保田弘信氏をお迎えし、日本では報道されていない戦場の事実を、数々の貴重な写真を通してお話しいただきました。

パキスタンでアフガニスタン難民取材したことをきっかけにジャーナリストの仕事を始められた久保田氏は、2001年9.11同時多発テロ事件とアメリカのアフガニスタン(タリバン)攻撃や、2016年イラクでのIS掃討作戦取材されました。現在も戦場に赴き、命の危険と隣り合わせの状況で取材されています。戦禍で暮らす現地の人々の姿を写真や映像に収め、写真集や著作、個展や講演活動などを通して戦場のリアルを伝える活動に尽力されています。

「フォトジャーナリストという仕事を続けるのは、世界で起きている真実を伝えたいから。そして争いをなくすためにはどうしたらいいのだろうと、一人ひとりが考えてほしい。」と講演の中で熱く語られていました。

また、講演後の座談会も開催され、「自分の進路を考える上で視野が広がった」などと感想を伝える生徒もいました。



### 【講演後の生徒の感想】

講演を聞いて、より多くの情報を知ろうとすることや、得た情報に対して何かしら自分の意見をもつことの大切さに改めて気づくことができました。日本の報道の窮屈さ、自分自身の報道に対する非積極的な態度、ジャーナリストとしての久保田さんの思いの強さについて考えさせられました。

久保田さんのお話を聞いて、まず自分たちが知っているガザやイスラエルは、実際にはさらにひどく悲しい状況になっていることを、久保田さんのお話や写真を通して痛感しました。また、空爆が行われている中でも、イスラエルの人が親切にしてくれたり、カメラを向けられても笑顔を見せたりすることから、被害を生むだけの無意味な戦争や紛争が永久に無くなればよいのにと、一層